

一般研究用

# FeRhoNox-1

表1. 製品情報

品番	品名	容量	保存	安定性
GC901	FeRhoNox-1	50 $\mu$ g $\times$ 10本	遮光冷凍保存 DMSO溶解後は使い切り	未開封で約1年

## 1. はじめに

### ■FeRhoNox-1 について

FeRhoNox-1 は、鉄(II)イオンを検出可能なゴルジ局在性の生細胞イメージング用蛍光プローブです。他の金属イオンと区別してFe<sup>2+</sup>を特異的に検出することができます。ゴルジでのFe<sup>2+</sup>の検出に有効です。

## 2. 生細胞染色例 (HepG2 細胞)

### ■ご用意頂くもの

- ・脱水DMSO
- ・HBSS

### ■試薬の調製および細胞染色

- ① FeRhoNox-1 (MW: 458.55) を DMSO に溶解させ 1 mM 溶液とする。
- ② 色素のDMSO溶液を HBSS で希釈し、終濃度 5  $\mu$ M の染色液とする。
- ③ 細胞を培養している容器から液体培地を除去し、buffer で2回洗浄を行う。  
注: 培養容器は自家蛍光の小さい「ガラスボトムディッシュ」等を推奨する。
- ④ 培養容器に鉄溶液を入れ(終濃度: FAS 100  $\mu$ M)、37°C、5% CO<sub>2</sub> 雰囲気下で 30 分間インキュベーションする。
- ⑤ buffer で 3 回洗浄を行う。
- ⑥ 培養容器に染色液を加え、37°C、5% CO<sub>2</sub> 雰囲気下で 1 h インキュベーションする。
- ⑦ 染色後、buffer で 3 回洗浄を行い、常法にて蛍光観察を行う。

### ■蛍光観察

励起波長は 546 nm が適しています。用いるフィルタは、G-1A (Nikon 社) もしくはU-FGW (Olympus 社)、N2.1 (Leica 社) 等が使用できます。蛍光波長はおよそ 575 nm をピークに検出されます。

### ■保存

色素は窒素封入、乾燥状態で冷凍出荷しております。入荷後は冷暗所(-20°C)で保存してください。DMSOに溶解後の溶液の保存はお勧め致しません。